

市立病院の機能・役割に関する答申書とりまとめの方向性（選択肢）

大項目	中項目	小項目	方向性（選択肢）
市立病院で担うべき機能・役割	(1) 病院規模	病床数	資料②を参照
		診療科目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現状の診療科を踏襲する ・ 2 病院の診療科の集約を検討する ・ 総合診療科や在宅支援機能を追加する
	(2) 病院機能	指定・機能等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現状の指定を踏襲する ・ がん拠点病院の指定を受ける ・ 災害拠点病院の指定を受ける
	(3) 市立病院の体制		<ul style="list-style-type: none"> ・ 現状の 2 病院の機能をそのまま踏襲する ・ 2 病院で機能分担する（急性期を主に担う病院、回復期以降を主に担う病院など） ・ 1 病院に施設統合する
	(4) 地域医療構想を踏まえた役割の明確化	病床区分(高度急性期・急性期・回復期・慢性期) 地域の他の医療機関とのネットワーク化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高度急性期から慢性期まですべてを市立 2 病院で担う ・ 地域で不足する急性期から回復期を担う。他の病床区分は、他の医療機関と連携する
(5) 運営形態	指定管理者制度ほか（補足資料 資料④）	運営形態のパターン <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理者制度を継続する ・ 自治体直営化（地方公営企業法一部または全部適用）を検討する ・ 地方独立行政法人設立を検討する ・ 民営化を検討する 指定管理者との契約形態 <ul style="list-style-type: none"> ・ 現状の契約形態を継続する ・ 現状の契約年数で更新する ・ 病院運営の継続性等を踏まえ、契約の長期化を検討する ・ 上記（3）を踏まえて包括的契約を検討する 	